

森からのおくりもの



みんなのこころに みどりのたねを

春期「緑の募金運動」

今年も、春期「緑の募金運動」三月一日～五月三十一日が始まりました。

きれいな空気、おいしい水、心身の癒し、地球温暖化防止など、森林は私たちの豊かな生活を支え、多くの恵みを与えてくれます。しかし、国内外では、手入れ不足等によって森林が本来の働きを発揮できていない状況があり地球規模での砂漠化等による森林の減少・劣化も今なお続いています。

森林が本来持っている機能を発揮させるためには、一人一人が森林や緑を自分たちの共通財産と考え、それぞれの立場で、可能な方法で森づくりへ参加することが重要であり期待されています。

「緑の募金」活動を通して、身近な地域や国内外の森づくりの取組を進めることで様々な「森づくり・人づくり」活動の活性化にも活かされます。

この取組が国民全体で森林を守り育てる運動として発展することに期待しつづいてご理解ご協力をお願いします。

エリートツリーの選抜など 育種事業打ち合わせを実施

2月4日(水)局において、(独)森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場(岡山県)と育種事業打ち合わせを実施しました。

局からは、計画課・森林整備課・森林技術・支援センター・技術普及課が出席し、意見交換等行いました。

主な議題は、

- ・次代検定林の調査結果等
- ・エリートツリーの選抜と交雑検定林の設定
- ・遺伝資源関連研究課題
- ・林木遺伝資源の収集実績等でした。

今後とも連携して研究課題等に取組みます。



「セルロースナノファイバー」って

セルロースナノファイバー(以下、CNF)セルロースは、木材だけでなくあらゆる植物に含まれているが木材には、より高密度に含まれている。

樹木の細胞壁の構造は、鉄筋コンクリートの構造と似ている。コンクリートにあたるリグニンが鉄骨にあたるセルロースを埋め込んで、薄くても大きな力に耐えられる。

特にセルロースは、鉄の1/5の軽さで5倍以上の強さを持つとされ、このセルロースの細かい繊維のみを取り出して利用することができないか、世界各国で研究開発が行われている。

CNFは、軽量・高強度という特性を活かした自動車や航空機の部材、透明度や薄さを活かし、折れ曲がるディスプレイ材料、化粧品など幅広い分野での活用が期待されている。

(RINYA1月号より)

編集後記

2月、局内でもインフルエンザが猛威を。

3月中旬頃、サクラの開花予想も。

これからの季節と上手につきあい 体調管理を。

ふれあい館で展示

一月七日から二月二十七日まで、局ふれあい館で、

活動写真・二六年度「四国山の日賞」受賞六団体、

・森林環境教育(局署等)木工作品 森林環境教育ボランティア(OB正岡さん

など)が作成した木工作品(ひな人形など)を展示し

ました。期間中、大勢の市民の皆さまが訪れて鑑賞し

て頂きました。